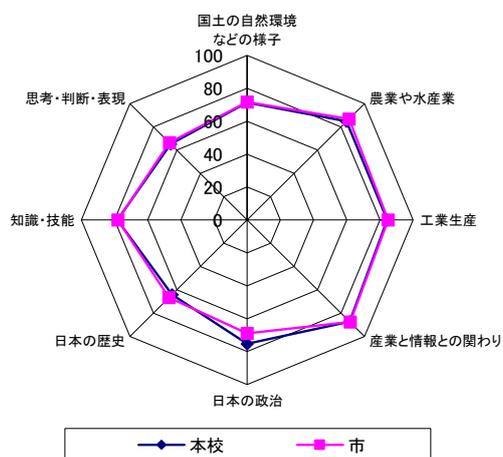


宇都宮市立富士見小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | | |
|-----|--------------|------|------|------|
| | | 本校 | 市 | 参考値 |
| 領域別 | 国土の自然環境などの様子 | 71.4 | 71.6 | 69.6 |
| | 農業や水産業 | 84.7 | 86.7 | 83.7 |
| | 工業生産 | 84.4 | 85.0 | 79.5 |
| | 産業と情報との関わり | 87.4 | 87.7 | 77.4 |
| | 日本の政治 | 75.2 | 68.9 | 71.7 |
| | 日本の歴史 | 64.2 | 66.7 | 66.3 |
| 観点別 | 知識・技能 | 78.3 | 78.0 | 76.7 |
| | 思考・判断・表現 | 65.3 | 66.4 | 63.1 |
| | | | | |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|--------------|---|--|
| 国土の自然環境などの様子 | <ul style="list-style-type: none"> ●本領域の平均正答率は71.4%で、市の正答率を0.2ポイント下回った。 ○「日本の周辺の海洋について理解している」「オーストラリアの位置と国旗を理解している」の平均正答率はそれぞれ91.0%と85.6%で、市の平均正答率を3.7ポイント、4.5ポイント上回った。 ●「日本の主な地形(湖)の名称を理解している」の正答率は65.8%で、市の正答率を8.2ポイント下回った。 | <ul style="list-style-type: none"> ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・国土周辺の様子について、概ね理解できている一方、日本の主な地形の名称と位置についての理解が不十分なので、地図を積極的に活用して国土の地形に興味をもたせ、理解につなげていく。 |
| 農業や水産業 | <ul style="list-style-type: none"> ●本領域の平均正答率は84.7%で、市の正答率を2ポイント下回った。 ○「水産物の流通の工夫について、資料をもとに判断している」の平均正答率は90.1%で市の正答率を1.9ポイント上回った。 ●「米の生産の工程について理解している」「米の生産が盛んな地域についての理解をもとに、資料を判断している」はそれぞれ73.9%と90.1%で、市の正答率を7.7ポイント、0.4ポイント下回った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・農業や水産業について、理解が不十分なことが分かる。さらに、米作りの作業や工夫についての理解が不十分なことから、季節ごとの米づくりの作業や農業の工夫について復習し、理解を深めさせていきたい。 |
| 工業生産 | <ul style="list-style-type: none"> ●本領域の平均正答率は84.4%で、市の正答率を0.6ポイント下回った。 ○「工業製品の分類を理解している」の平均正答率は92.8%で市の正答率を0.6ポイント上回った。 ●「自動車の製造工程について理解している」「日本の工業の特色について、資料をもとに表現している」はそれぞれ87.4%と73.0%で、市の正答率を1.9ポイント、0.4ポイント下回った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本の工業について理解が不十分なことが分かる。自動車の製造工程や工場の特徴を復習し、日本の工業生産の特色についての理解を深めさせていきたい。 |
| 産業と情報との関わり | <ul style="list-style-type: none"> ●本領域の平均正答率は87.4%で市の正答率を0.3ポイント下回った。 ○「情報の発信と受信の注意点について考えている」の平均正答率は82.0%で市の正答率を2.9ポイント上回った。 ●「さまざまなメディアの特徴について理解している」の平均正答率は92.8%で、市の正答率を3.5ポイント下回った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・産業と情報との関わりについて、まだ理解が不十分なことが分かる。NHKの放送資料などを活用したり、情報を活用していることが分かる新聞記事やホームページを紹介したりすることで、暮らしの中で情報がどのように活用されているかについて、興味をもたせるように働きかけていく。 |
| 日本の政治 | <ul style="list-style-type: none"> ○本領域の平均正答率は75.2%で、市の正答率を6.3ポイント上回った。 ○「国民と国会と内閣の関係についての理解をもとに図を読み取っている」の平均正答率は87.4%で市の正答率を4.8ポイント上回った。 ●「内閣の働きについて理解している」の平均正答率は41.4%で市の正答率を1.0ポイント下回った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・三権分立が相互に抑制し合い、バランスを保つことによって権力の乱用を防ぎ、国民の権利と自由を保障していることを、実生活の中から興味をもって学ぶことができるようにさらに支援していきたい。 |
| 日本の歴史 | <ul style="list-style-type: none"> ●本領域の平均正答率は64.2%で、市の正答率を2.5ポイント下回った。 ○「縄文時代の生活の様子について理解している」の平均正答率は89.2%で市の正答率を4.8ポイント上回った。 ●「江戸幕府の鎖国の窓口について理解している」の平均正答率は62.2%で市の正答率を1.7ポイント下回った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・幕府が外国船の入港地制限や貿易統制など、海外諸国との交易や外交を厳しく管理する一方で、定められた場所で限られた国との交易が行われていたことなどを地図帳や資料などをもとに理解させていきたい。 |